

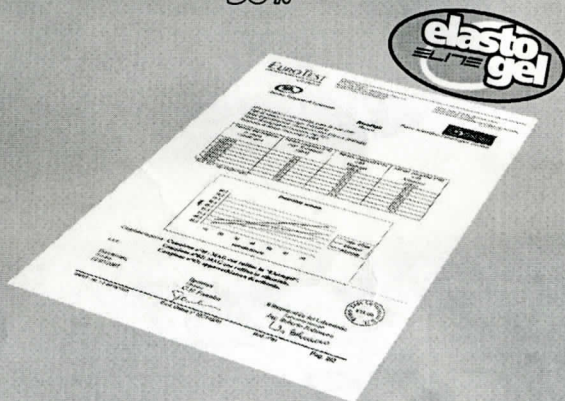
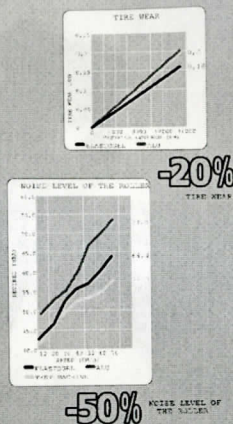
『エラストゲル』はエリート社とバイエル社の共同開発により誕生しました。トレーナーの負荷ローラーに搭載されるテクノポリマー製の『エラストゲル』には以下のアドバンテージがあります。

- ・騒音を50%低減 (dB換算*)
- ・タイヤと負荷ローラーのグリップ力を向上
- ・タイヤの磨耗を20%低減
- ・振動の低減と実走感の向上
- ・MTBタイヤでのトレーナー使用感の改善

特別な製造工程を経た『エラストゲル』により、耐摩耗、溶剤や油分への耐性を備えながら、高い弾力性を実現しています。

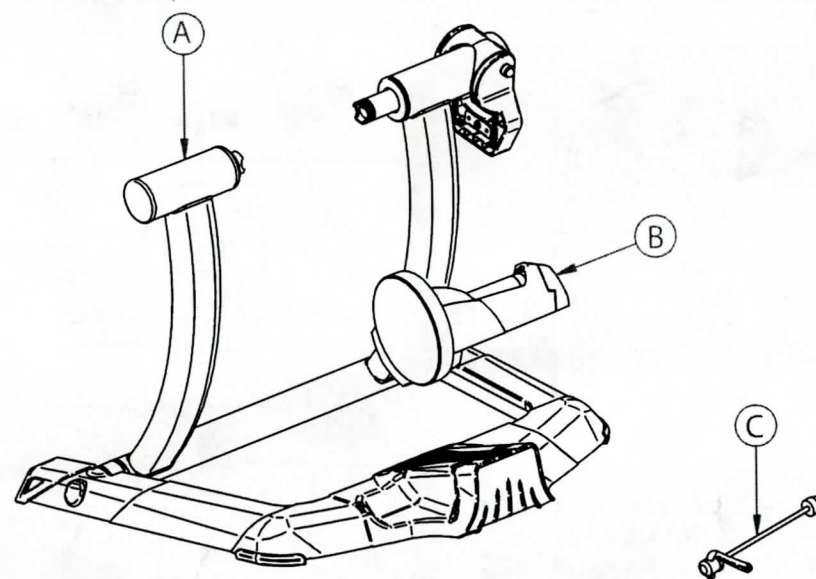
*dB デシベル について

不快な騒音は空気中を瞬間的に伝わる空気の高速の振動です。この振動は圧力変動を繰り返す音波であり、デシベル(dB)という単位で計測されます。騒音レベルで例えれば、60dBの音は50dBの音の10倍以上になります。



- ・商品の確認 3
- ・負荷ユニットの取り付け 4
- ・自転車の取り付け / 取り外し 5-7
- ・レベリングフィートの取り付け 8
- ・注意とアドバイス 9
- ・「キューボデジタルスマートB+」の取扱い方法 10
- ・心拍モニター、ケイデンスセンサー 11
- ・商品の確認 11
- ・注意事項、負荷ユニットの組立て、負荷ユニットの使用 12
- ・重要な注意事項 12
- ・トラブルシューティング 13
- ・パーツリスト 14
- ・品質保証規定 15

エリート キューボ ホームトレーナーをご購入いただき誠にありがとうございます。



商品の確認【キューボ各製品共通部分のみ】

最初に外箱から以下の部品を取り出して、揃っているかを確認してください。

- キューボフレーム (A)
- 負荷ユニット (B)
- クイックリリース (C)
- M6ボルト (各製品ごとの取扱いページに記載)
- ワッシャー (各製品ごとの取扱いページに記載)
- レベリングフィート(E) ※イラスト未掲載



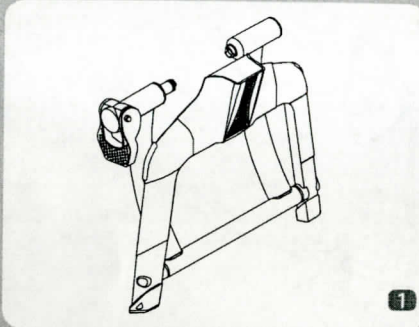
重要



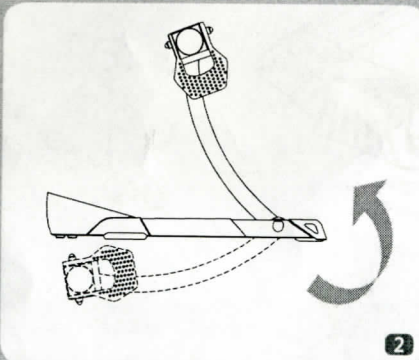
負荷ユニットは製品によって異なります。製品ごとの取扱方法は各該当ページを参照してください。

負荷ユニットの取り付け

・図1のような状態で梱包されているフレーム(A)の足を図2のように開いて、平らで安定した地面に設置します。



1



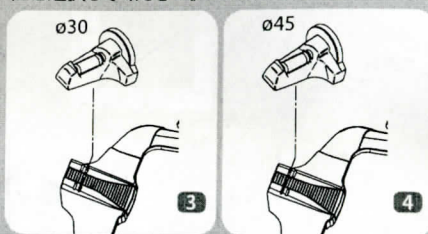
2

・フレームの負荷ユニット取り付け部には2組の穴があります。

- 1) 負荷ユニットのローラー直径が30mmの機種(デジタル)は図3のように、(自転車の取り付け方向から見て)前方の穴に負荷ユニットを取り付けます。
- 2) 負荷ユニットのローラー直径が45mmの機種(パワフルード、ハイドロマグ、ハイドロマグデジタル、ワイヤレス)は図4のように、後方の穴に負荷ユニットを取り付けます。

・ワッシャーを取り付けたボルトを図5、6のように

取り付けます。ローラーの直径によって取り付け位置を選択してください。

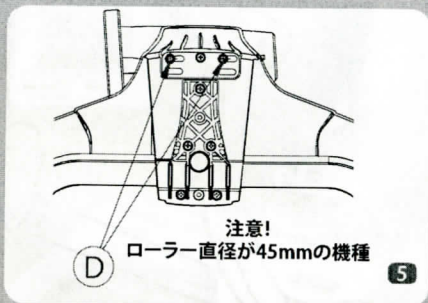


ø30

ø45

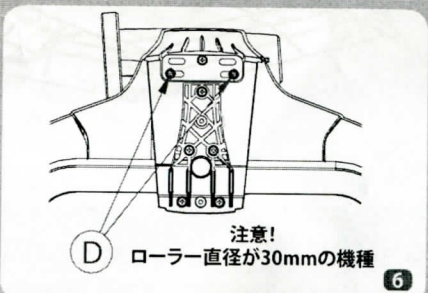
3

4



注意!
ローラー直径が45mmの機種

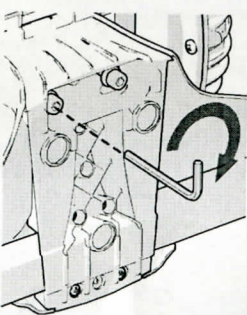
5



注意!
ローラー直径が30mmの機種

6

注意: 製品に付属するアーレンキーまたはトルクレンチを使用して、負荷ユニットをフレームに取り付けます。ボルトを締める際、ボルトとフレームが接触したら1/4回転ずつ慎重に増し締めを行います。最大締め付けトルクは2Nmです、締めすぎるとフレームの破損につながりますのでご注意ください。

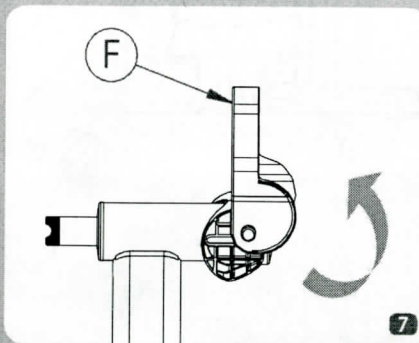


7

ELITE

自転車の取り付け

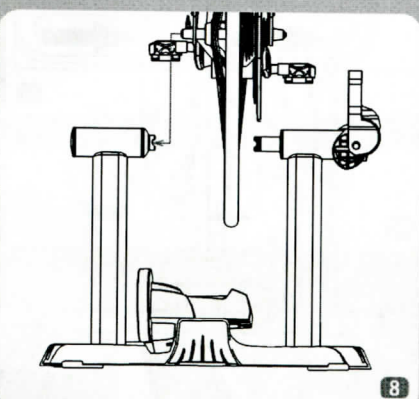
・後輪にクイックリリース(C)を取り付けます。クイックリリースが適切に固定されているか確認してください。



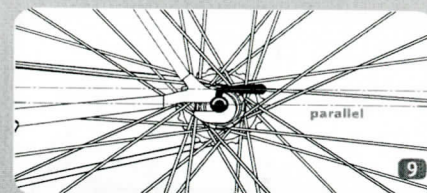
7

・図7のように、フィキシングレバー(F)を"OPEN"の位置まで回します。

・図8のように、後輪左側のクイックリリースを左サポートカップに挿入します。挿入する前に、図9のようにクイックリリースのレバーが水平になるように閉めてあることを確認してください。クイックリリースのレバーがフレームと干渉する場合には、フレームと干渉せずに確実に固定できる方向にレバーを開めてください。挿入するときはレバーとサポートカップの切り欠きの位置が合うように取り付けてください。

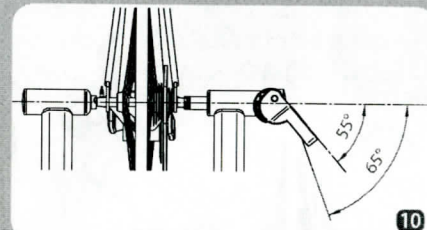


8



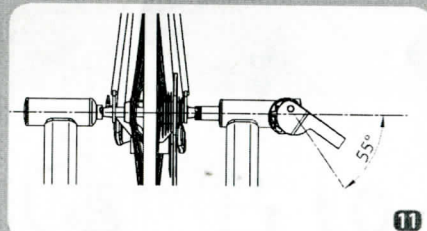
9

・フィキシングレバー(F)を下側に倒し、閉じます。図10のようにトレーナーを後方から見た場合に、フィキシングレバーが水平のときを0°とすると、レバーをそこから55°~65°閉じこむときに圧力を感じ始めるのが正しい位置です。



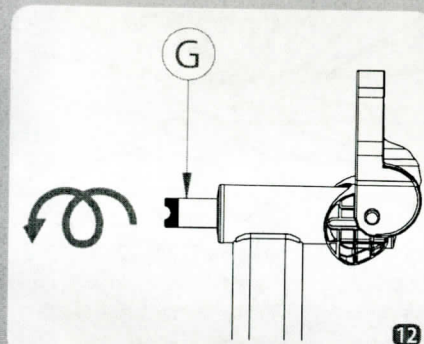
10

・もし圧力を感じ始める位置が図11のように55°よりも手前側にある場合は、図12のようにプッシュピン(G)を適量、時計回りに締めます。

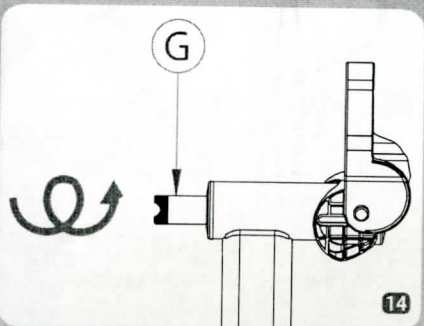
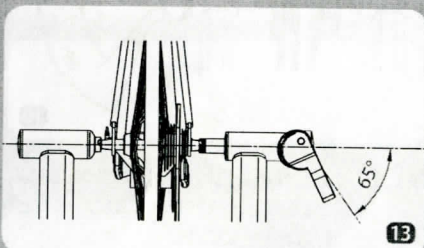


11

ELITE

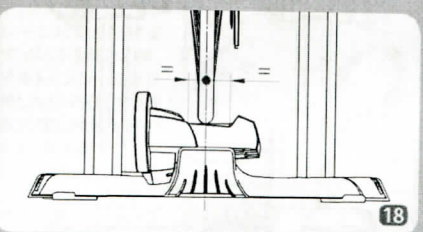
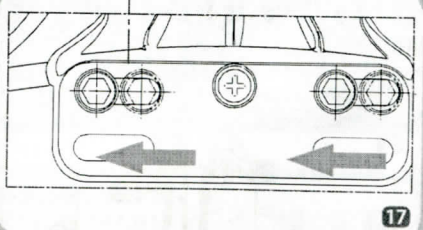
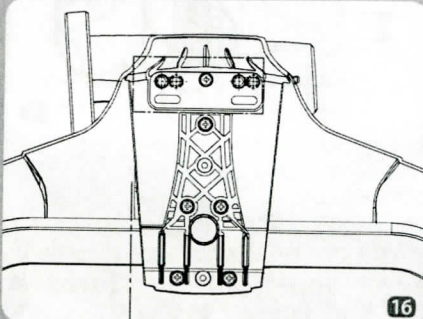
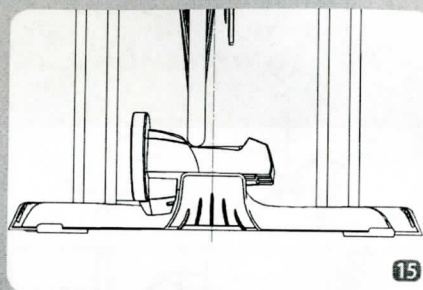


・もし圧力を感じ始める位置が図13のように65°よりも奥側にある場合は、図14のようにプッシュピン(G)を適量、反時計回りに緩めます。

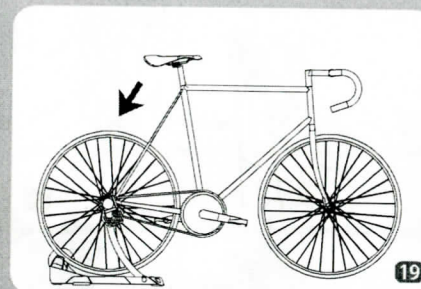


・もし図15のように、タイヤが負荷ユニットのローラー部のセンターから大きく外れている場合には、図16,17のようにボルトを緩め負荷ユニットを移動させます。負荷ユニットのローラー部のセンターとタイヤのセンターを図18のように合わせたら、ボルトを締めます。

トを締めます。



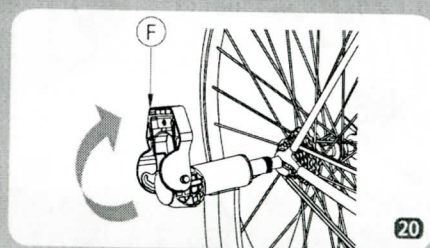
・図19のように、自転車の後輪をローラー部に接触させます。



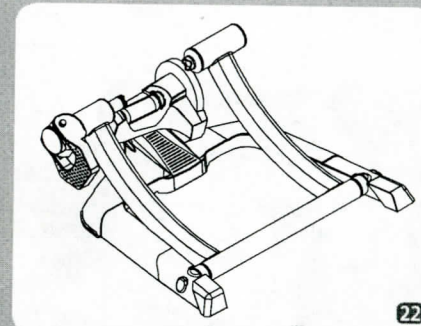
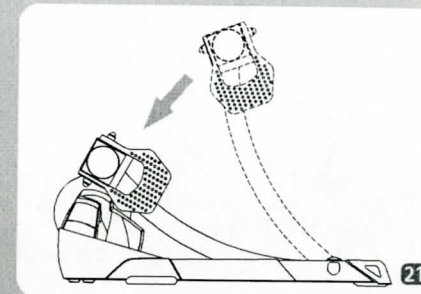
・自転車のトップチューブとサドルを持って左右に揺すり、自転車がしっかりと固定され安定していることを確認します。もし自転車の固定が不十分な場合には、クイックリリースのレバーがしっかりと閉じられて固定されているかどうか、フィキシングレバー(F)が"CLOSE"のポジションにあるかどうかを確認してください。

自転車の取り外し

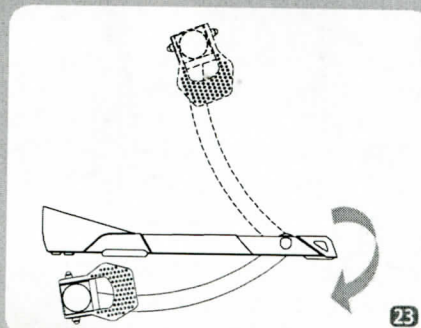
・自転車を押さえながら図20のようにフィキシングレバー(F)を開いて固定を解除し、自転車を取り外します。

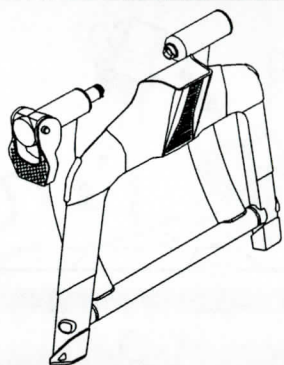


・運搬時や収納時には図21、22のようにフレームの足を閉じます。



・さらに省スペースに収納する場合には負荷ユニット(B)をフレーム(A)から取り外し、図23、24のようにフレームのアームを回転させてください。

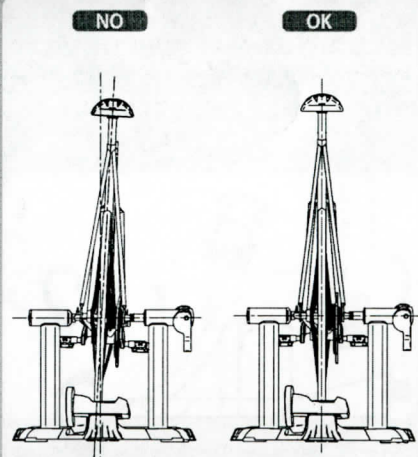




24

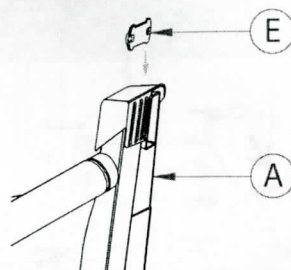
レベリングフィートの取り付け

・キューボトレーナーにはレベリングフィート(E)が付属します。地面が水平でない場合や自転車が水平にならない場合にはレベリングフィートを地面との接地面に取り付けることによって、水平を確保します。

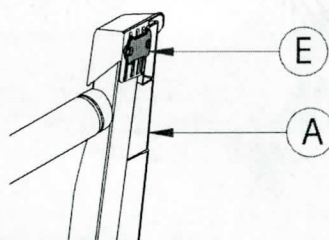


25

・フレーム(A)の前方へは、図26、27のようにレベリングフィート(E)を取り付けます。

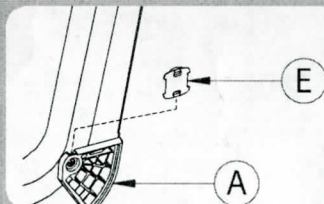


26

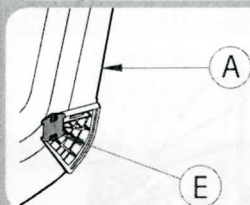


27

・フレーム(A)の後方へは、図28、29のようにレベリングフィート(E)を取り付けます。



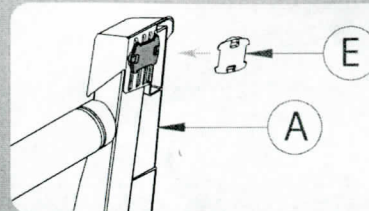
28



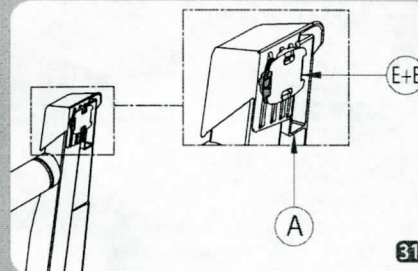
29

・1枚のレベリングフィートを取り付けるだけでは水平を確保できない場合には、図30、31、32、33のように適宜使用する枚数を増やします。

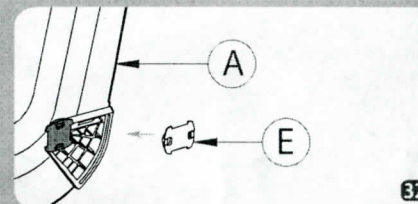
注意: 2枚以上レベリングフィートを取り付ける場合には、図30、32のように90°ずつ回転させて交互に取り付けを行います。



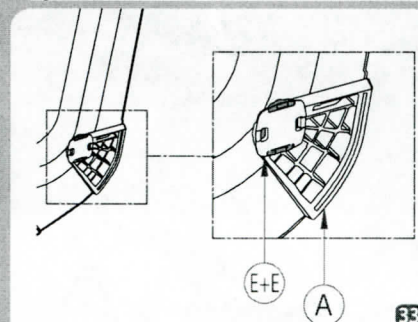
30



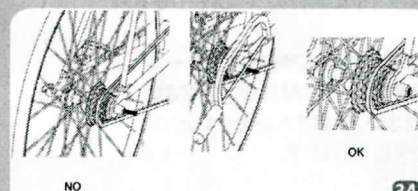
31



32



33



34

注意

- ・トレーナーの使用中は人間や子供、動物などが近寄らないように注意してください。動いたり回転しているトレーナーのパーツや自転車と接触すると非常に危険です。
- ・トレーニングを行う場合、不注意やうっかりにより起こりうる万が一の事故を避けるためにトレーナーは乾燥した場所で、潜在的な危険物(家具、テーブルやイスなど)から遠ざけて設置してください。
- ・この製品は「ひとり乗りの自転車」専用です。このトレーナーは付属するクイックリリースを装着できない自転車には使用できません。
- ・トレーナーを使用する前には自転車及びトレーナーが安定しているかよく確認してください。
- ・トレーナーに装着する自転車の後輪のクイックリリースは必ず付属の専用品に交換してから使用してください。
- ・フレーム、負荷ユニットは分解しないでください。分解された場合にはいかなる場合にも保証修理は受けることができなくなります。
- ・フレームの地面との接地部はソフトなノンスリップゴム製です。床材によっては色がつうつ場合がありますのでご注意ください。

アドバイス

- ・トレーナーで使用するタイヤ幅は23mmが最適です。タイヤの磨耗が少なく、エラストゲルローラーとのグリップも適切になります。
- ・タイヤの空気圧はロード用で7-8気圧、MTB用で3.5-4気圧が最適です。使用されるタイヤによっては、タイヤメーカーの指示する空気圧でご使用ください。
- ・タイヤはスリックタイヤを使用してください。タイヤ表面にパターンや模様の無いスリックタイヤを使用するとグリップが高まり、静粛性が向上、振動が減少します。MTBは必ずスリックタイヤでご使用ください。
- ・使用前にタイヤをアルコールまたは水を使用してクリーニングしてください。
- ・トレーナーの使用後輪がスリップする場合には、ペダルへの入力を徐々に滑り止しないようにしてください。スリップを繰り返すとエラストゲルローラーに致命的なダメージを与えます。
- ・図34のように、クイックリリースのピンがナットから3mm以上飛び出している場合には、飛び出した先端部分を切断してください。切断作業については購入店にご相談下さい。

「キューボデジタル スマートB+」の取扱い方法

※「キューボデジタルスマートB+」のローラーの直径は30mmです。

はじめに

Qubo Digital Smart B+は、室内でのサイクル・トレーニングやテストに使用する為に設計されており、パソコン(Windows)や、スマートフォンやタブレットなどのデバイス用携帯アプリに接続して使用できるものです。

ANT+及びBluetooth Smartプロトコルが一体化され、PCや携帯デバイスとの通信を無線で行います。ほとんどのデバイスについて、追加のコンポーネントを必要としません。

Qubo Digital Smart B+は、ELITE社のMy E-trainingアプリと互換性があり、アプリの多くの機能が、iOS(iPhone, iPad, iPod Touch)とAndroidデバイスを利用して利用することができます。

Qubo Digital Smart B+はホームトレーナー用に開発された双方向性プロトコル「ANT+ FE-C」をサポートしており、スピード&ケイデンス・データを読み取り、負荷の調整を行います。他のプロトコルでは一方のデータ通信しか行えず、ホームトレーナーとの双方向通信は行えません。さらに、「ANT+ FE-C」プロトコルを搭載したホームトレーナーは、それをサポートする全てのソフトウェアをホームトレーナーで使うことができ、Qubo

Digital Smart B+で使うソフトウェアを自由に選択することができます。

「ANT+ FE-C」プロトコルを備えたデバイスのリストは以下で見ることができます。(http://www.thisisant.com/directly/)

注意:すべてのコンピューターやデバイスがANT+と接続できる訳ではなく、追加の機器が必要になる場合もあります。

最新のスマートフォンやタブレットの多くには、Bluetooth Smart ReadyもしくはANT+通信の機能が備わっており、追加の機器を必要としません。もし、お使いのスマートフォン、タブレットやサイクルコンピューターにANT+の接続機能が無い場合、いくつかのモデルでは外部USB dongleを用いて直接接続するか、もしくはアダプターを介して通信ができます。互換性のあるデバイスは以下の通りです。

iPad 3以降

iPhone 4S以降

iPod Touch 第5世代以降

Android 4.3とBluetooth 4.0デバイス

デバイスの機能についての詳細に関しては、デバイスに付属の説明書をご参照下さい。お使いのデバイスの互換性と追加に必要な機器につきましては、http://configuro.elite-it.comで確認できます。

重要



- ・走行中は決してブレーキを使用しないで下さい。エラストゲルローラー(タイヤが接触して回転する赤いローラー部)とタイヤに致命的なダメージを与えます。
- ・トレーナーを使用すると負荷ユニットは発熱して高温になります。トレーニング終了後、負荷ユニットが冷めるまでは負荷ユニットに触れないで下さい。
- ・フレイム、負荷ユニットは分解しないでください。分解された場合にはいかなる場合にも保証修理は受けることができなくなります。



ELITE

心拍モニター

Qubo Digital Smart B+には、心拍ベルト用の受信機は内蔵されておりません。

心拍ベルトを使用することは可能ですが、データを表示できるデバイスとアプリ/ソフトウェアと互換性がなければなりません。詳細につきましては、お使いの心拍ベルト、スマートフォン/タブレット/サイクル・コンピューターの情報をご参照下さい。お使いの心拍ベルトとスマートフォン/タブレット/サイクル・コンピューターとの互換性についての情報については、それぞれの機能をよくお確かめ下さい。

※心拍ベルトは付属しておりません。

ケイデンス・センサー

Qubo Digital Smart B+ホームトレーナーにはケイデンス計測システムも搭載されており、自転車にセンサーを取り付ける必要がありません。

最新の計算理論により、スピードをもとにして算出されます。直接計測ではない為、特定の状況ではケイデンスの数値に誤差が生じることがあります。さらに正確な数値を測りたい場合は、オプションの外部ケイデンス・センサーを自転車に取り付けることができます。詳細は販売店にお問合せ下さい。※外部ケイデンス・センサーは付属されていません。

エリート社の外部ケイデンスセンサーを用いてケイデンス・データを計測する場合

エリート社のケイデンスセンサーを取り付ける場合、以下のことに注意して下さい。

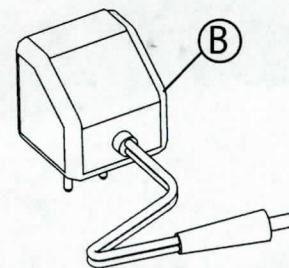
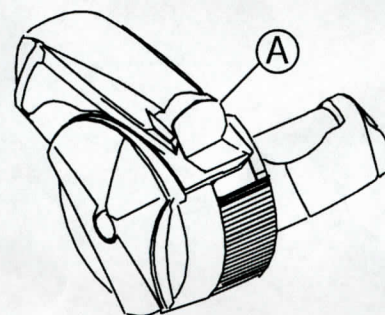
- 自転車にセンサーとマグネットを取り付ける際、センサーに添付されている説明に従って下さい。
- センサーを始動させる為、ペダルを半時計回りに3回転させて下さい。

エリート社以外の無線センサー(スピード、パワー、ケイデンス)をご使用になる場合は、各アプリの指示をご確認下さい。互換性についてはセンサーのメーカーにお尋ねください。

- 半時計回りにペダルを回し、センサーを始動させて下さい。ホームトレーナーのセンサー部にあるLEDが3回点滅します。このLEDは、センサーとマグネットの距離が近づく度に点滅します。エリート社以外のセンサー(スピード、パワー、ケイデンス)をご使用の際は、各センサーとアプリの指示に従って下さい。

商品の確認

負荷ユニット(A)
電源アダプタ(B)



1

ELITE



注意



・キューボデジタルスマートB+は無線でデータ送受信を行います。そのため周囲の電磁波が干渉する可能性があります。近くに強い電磁波を発する機器があると誤作動する場合がありますので、それらを遠ざけるか、電源を消してください。

・負荷ユニットを直射日光下に放置しないでください。また長期間の保管時には湿度の高い場所を避けて保管してください。

・トレーナーのすべての部品について、合成洗剤（またはガソリン、シンナーを含むもの）を使用しないでください。

注意事項

・トレーナーをご使用の際は、絶対に自転車のブレーキをかけないで下さい。ローラーとタイヤを破損することがあります。

・ご使用中、負荷ユニットが高温になることがありますので、充分に冷えてから手を触れるように注意して下さい。

負荷ユニットの組立て

別項の説明に従い、負荷ユニット(A)をフレームに取り付けます。付属の電源アダプタ(B)のコードを、負荷ユニット(A)のプラグ接続口につなぎ、アダプタの電源コードをコンセントに繋ぎます。

負荷ユニットの使用

負荷ユニットをフレームに取り付けると、Qubo Digital Smart B+の準備は完了です。データの表示と負荷の調整には、My E-Trainingや互換性のあるアプリ、コンピューターとソフトウェアが必要です。ペダリング、データ収集や負荷調整の各段階でANT+もしくはBluetooth Smartのプロトコルが用いられます。

接続の手順とデバイスの使用方法は、ご使用のデバイス自体とソフトウェア／アプリによって異なります。

トレーニングにご使用になる際の接続方法については、ソフトウェア／アプリの説明に従って下さい。

【重要な注意事項】

・トレーナーの通常使用において、後輪が接触するエラストゲルローラーにわずかな磨耗痕がつくのは正常です。エリート社のテストでは、連続した20,000kmの走行後でローラーの磨耗は0.1mm前後でした。ローラーの厚みは10mmあり、使用方法を守った使用での磨耗は問題ありません。誤った使用方法や適切でない操作による不具合、消耗は保証の対象外になります。

・細すぎるタイヤや適正でない空気圧で使用するエラストゲルローラーを消耗させます。

・トレーナーを濡った場所、濡れている所で使用または保管しないでください。これによりフレームや負荷ユニット、センサーの電気回路にダメージを与える恐れがあります。

・キューボデジタルの使用には、100V電源が必要です。負荷ユニットに通電していない状態では使用できません。

・トレーナーの使用の後輪がスリップする場合には、ペダルへの入力を徐々に行いスリップしないようにしてください。スリップを繰り返すとエラストゲルローラーに致命的なダメージを与えます。

・エリート社以外の各種センサー、HRベルト等の動作不良や互換性に関しては、各メーカーにお問い合わせください。QUBO DIGITALで使用可能とされている場合でも、エリート社以外の製品に関して互換性を保証するものではありません。

トラブルシューティング

・**負荷が変わらない:** 通信に問題がある可能性があります。スマートフォンやワイヤレス・ルーターなどの電子機器の電源を一度切るか、通信のチャンネルを変え、アプリ／ソフトウェアやサイクル・コンピューターとのペアリング作業をやり直して下さい。

・**ケイデンスの数値が正確でない:** センサーをせずに計算を行うアルゴリズムは、正確に働かないことがあります。これは、低負荷で高回転のペダリングを行った際に起こります。より正確性を求める場合は、エリート社のワイヤレス・センサーか、ソフトウェア／アプリに直接データを送る他社のセンサーをご使用下さい。

・**トレーナーがアプリ／サイクル・コンピューターと接続しない:** トレーナーの電源が適切に入れられてから2分以内に、デバイスに接続されない場合、節電モードになることがあります。ペダリングをするか、電源プラグを差し込み直し、再始動させてから、2分以内にデバイスに接続して下さい。

・**負荷ユニットのLEDが点滅しない:** テスターを使って、電源アダプターが正常に作動しているかどうかチェックして下さい。ANT+とBluetooth Smartの通信システムは通常のWi-Fiと互換性がありますので、スマートフォンやルーターの電源を切る必要はありません。Wi-Fiのネットワークは14もしくは6以下を使用しています。チャンネル7から13は、ホームトレーナーのANT+やBluetooth無線通信システムを妨害する可能性があります。

・**スマートフォンやタブレット端末と接続しなくなった:** 端末のOSアップデートなどで接続が出来なくなる場合があります。アプリを最新バージョンにアップデートしていただくか、OSのバージョンを元に戻して再度ご確認ください。

「MY E-Training」アプリの初期設定

詳しくは弊社ホームページでご確認ください。クーポンコードの利用方法もこちらで説明しております。

<http://www.riogrande.co.jp/news/node/45346>



